【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】平成21年11月19日(2009.11.19)

【公表番号】特表2009-506745(P2009-506745A)
【公表日】平成21年2月12日(2009.2.12)
【年通号数】公開・登録公報2009-006
【出願番号】特願2008-528327(P2008-528327)
【国際特許分類】
Ｈ０２Ｊ　7/00　(2006.01)
Ｈ０１Ｍ　10/46　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０２Ｊ　7/00　３０１Ｂ
Ｈ０１Ｍ　10/46

【手続補正書】
【提出日】平成21年8月11日(2009.8.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
再充電可能な蓄電池及びケース外壁（４）に面した接触子（３）を有する懐中電灯（１）にあって、バッテリー充電器（２）との閉回路が、これらの接触子を通じて構成可能であり、このバッテリー充電器は、乗用車のコンセント又はトラックのコンセントに接続するためのアダプタープラグ、特にタバコ点火器の収容ソケット（８）を有し、この場合、前記バッテリー充電器（２）は、深鍋形のケース（６）又は鞘形のケース（６）であり、このケース（６）の内側部分の接触子（７）が、前記懐中電燈（１）の前記ケース外壁（４）の前記接触子（３）に接触するように、この懐中電燈（１）が、このケース（６）内に差し込み可能である前記懐中電燈（１）において、
前記バッテリー充電器（２）の前記深鍋形のケース（６）又は鞘形のケース（６）は、外側にある接触子（５，５′）を有し、これらの接触子（５，５′）が、前記収容ソケット（８）の対応する接触収容部内に係合するように、この深鍋形のケース（６）又は鞘形のケース（６）は、これらの接触子（５，５′）によってタバコ点火器の前記収容ソケット（８）内に差し込み可能であることを特徴とする懐中電燈（１）。
【請求項２】
前記懐中電燈のケース（４）は、ほぼシリンダ形であり、このケース（４）の一部だけが、差し込まれた位置で前記バッテリー充電器（２）の前記鞘形のケース（６）から突き出ることを特徴とする請求項１に記載の懐中電燈（１）。
【請求項３】
光源は、発光ダイオードであることを特徴とする請求項１又は２に記載の懐中電燈（１）。